

学校経営推進費 事業計画書

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立西成高等学校
取り組む課題	D 生徒の自立を支える教育の充実
評価指標	進級卒業率の向上及び卒業後1年間の就労定着率の向上（離職率の逓減）
計画名	「生徒を勇気づけるキャリアステージ計画」（地域協同キャリアセンター構想）

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	<p>2 キャリア教育でエンパワーする [SDGs 働きがいも、経済成長も]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 挫折や失敗からリカバーするチカラを育成する。 ○ 企業家教育（アントレプレナーシップ教育）を実施する。 ○ アルバイト支援（経営推進費）を継続し、2年次のインターンシップを通して、段階的・実践的な職業教育を実施する。 ○ 社会人基礎力の養成を行う。（1年次から人間関係作りなどを含めた） ○ 定着支援にも重点をおく。 <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学校教育自己診断アンケート（生徒）における「成長実感」 （R1 83.1%→R2 78.4%→R3 83.0%） R6目標 75%維持 ② 進路指導に対する自己診断アンケートでの満足度 （R1 77%→R2 86% →R3 88.6%） R6目標 75%以上維持 ③ 地元への就職定着を促進しながら、就職内定100%を維持する。 （令和3年度現在11年連続100%達成） ④ 就労1年以内の離職率をR6には10%以内にする。 （R1年度 卒業生離職率16% R2年度 18.6%） ※離職率は2年前の卒業生の状況を反映する ⑤ キャリア教育の原点は「学びなおし」と自信の回復 進級率卒業率を向上させる。R6 卒業生数200名（213名入学）卒業率94%をめざす。 （令和3年度卒業学年の3か年 2年への進級率 86.2%、卒業率 79.7%）
事業目標	<p>平成29年度からエンパワメント改革の第2期と位置づけ、中退率の逓減と就職内定率100%の維持をめざして、取り組みをすすめてきた。学校満足度は94%に到達し、生徒の自己成長感が高まってきている。さらに、令和3年度末には中退率がついに3%を割り込み第2期の目標はほぼ達成したかのように見える。</p> <p>しかし、今年度中退こそは減少したが、転学者がかなり多数に上った。そのため、進級することなく学校を離れる生徒が多くなっている。私たちの学校が考える進路保障はこうした学ぶ自信を持つことができなかつた生徒が学びのステージを上がっていくことで自信を回復し、将来への見通しやそこに望む精神を獲得する過程だと考えている。目標は中退率の減少にとどまらず、卒業する生徒を一人でも多くする。そしてその人たちが地域社会で定着することをめざすものである。そのために、進路保障センターを通じて、地域協働の取組みの中で生徒を市民に育て上げていくことである。</p>
整備する 設備 ・物品	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域協働アルバイト支援費（委託費） ○ 地域協働キャリアセンター（セルフZone、相談Zone、コミュニティZone）の内装、及び家具等

取組みの概要	取組内容	前年度	<p>生活的自立→社会的自立→職業的自立へステージアップする本校の基本方針は、新型コロナ感染症の蔓延状況により、2年連続インターンシップを中止せざるを得なくなるなど、西成高校ロードマップと名付けた3か年進路保障計画は見直しを迫られている。その中で、新たな取組みとして、生徒育成の基本としての教務内規などを大きく改定した。（実施は今年度から）自信回復と自立へのツールとして取り組んでいるアルバイト支援もテコ入れを行うことができた。しかし、学習支援の「まなラボ」（大学院生による質問会形式の支援）はあまり実施できなかった。（場所もなく、渡り廊下で実施する場面もあった）</p>
		初年度	<p>上記の反省を踏まえて、学習支援の空間づくり（地域協働キャリアセンター：セルフ Zone）を活用しながら、学習支援（まなラボ）を行うことで学びに対する自信回復を行う。1年から2年への進級が課題となるので、1年間で5タームにわけ、それぞれのタームごとにコミュニケーション・ウィークを設け、成績懇談を通じて成績通知を行う。丁寧な学習評価で生徒の自信回復をめざす。また、地場産業の「製靴」とのコラボで世界で初めての部活動としての「靴づくり」クラブを結成し、オンリーワンの自信を高める。</p>
		2年め	<p>地域協働キャリアセンターのコミュニティ Zone の本格運用で地域の中小企業家同友会や就労支援事業所との連携をコミュニティ・スクールにおける「地域協働本部」のような役割を担う組織に育てることで、生徒の自信回復を学校外でのインターンシップやボランティアなどの社会参加を促進し、その中で初年度に高めた自尊感情の定着を図る。</p>
		3年め	<p>最終年はアルバイト支援・自尊感情に働く評価週間（コミュニケーションウィーク）の取組みのステージを自分のものとするために、キャリアパスポートに蓄積された自分の3か年をさらに輝かせるために、学校生活の多くの分野で生徒が自ら考え行動できる体制を考える。（学校行事などを中心に意見表明の機会を作る）。このように初年度からの取組みを積み重ねるとともに継続しつつ、学校内外で自信を持ってふるまえる市民の育成を進める。また、相談 Zone やセルフ Zone を活用し、企業研究や仕事研究にも集中できる体制を作る。</p>
	取組みの 主担 ・実施者	<p>責任分掌：教務学習課・進路保障課 （計画実施主体 「ともに学び・ともに育つ」多様な教育実践モデル校校内WG） 全教職員が関与する</p>	
成果の検証方法 と評価指標	初年度	現在1年からの進級率 85%を 90%に、卒業率 76%を 80%に1年後の離職率 16%に	
	2年め	1年からの進級率 92%、卒業率 83%に、1年後の離職率 13%に	
	3年め	1年からの進級率 94%、卒業率 90%に、1年後の離職率 10%に	